



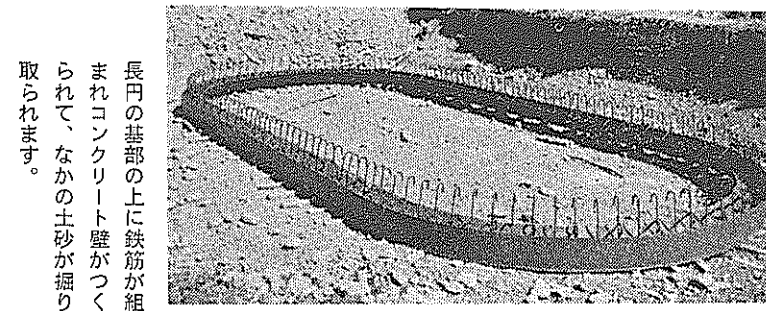
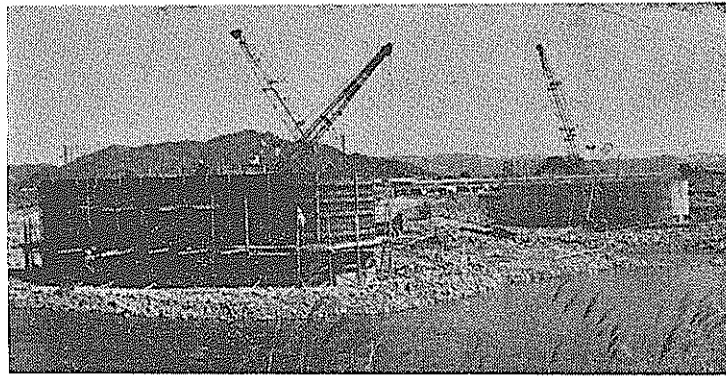
南国バイパスの東端、物部川堤防は切り取られ、橋脚がつくられています。

進<む<新<物<部<川<橋<

南国バイパスと、赤岡バイパスを結ぶ新物部川橋の橋脚工事は、昨年末から始められていましたが、いくつかの橋脚が姿をみせてきました。



橋脚内の土砂が取り除かれ、じよじよに橋脚が沈められてゆく



長円の基部の上に鉄筋が組まれコンクリート壁がつくられて、なかの土砂が掘り取られます。

市のうごき

(1月末現在)

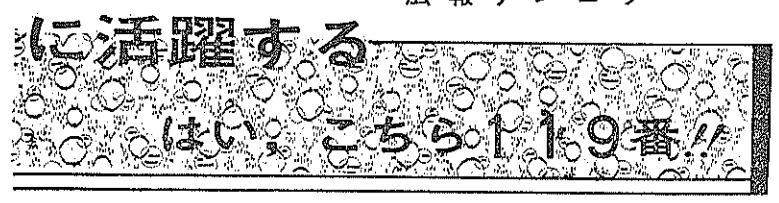
転入	219	転出	192
出生	53	死亡	63
人口	42,463人		
	(男 20,872人)		
	(女 21,591人)		
世帯数	12,162戸		

使命感に生きる救急隊

出動要請は慎重に

日ごとに激増する交通事故のかけで、日夜、立ち働いている人たちがいます。

それは市消防署の救急隊のことです。今月はこの救急隊にスポットを当ててみました。

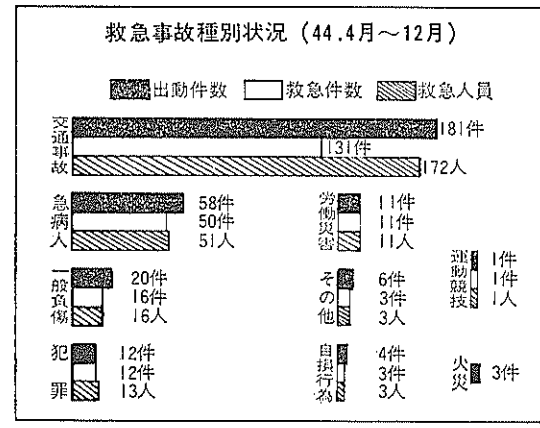


市消防署の救急隊は、昨年の四月一日に、満一年を迎えようとしています。

まず、四月から十二月まで（九カ月）の活動状況は、出動件数二百九十六件、救急取扱件数は二百二十七件、搬送した人員は二百七十人（男百九十人、女八十人）、不搬送六十九件（出動はしたが、負傷者を他の車によって搬送したものや、現場処理のみ）で、一カ月平均三十三件、一日一回出動したことになります。

地域別の出動状況は、五十三件の大篠地区を筆頭に、後免の四十七件、北部（久礼田、瓶岩）の四十件、日章の三十四件、南海（里改田、稲生）の二十七件、岡豊の二十二件などが多く、やはり国道五十五号、三十一号、南園バイパスなどでの交通事故の多いことをものがたっており、救急件数の四〇割は市外の人たちです。

出動要請の原因別（別表）では、交通事故によるものが百八十一件で、六



一割を占め、急病による五十八件（二〇割）の三倍余りになっており、交通事故の多いことがここでもあらわされています。

ところで、救急された人々を年令別、月別にみれば、春や秋の行楽時、疲労と居

年令月別救急人員数（4月～12月）

月別	年令												計
	0-10	11-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71以上	不明				
4	5	6	4	8	1	5	2	1					32
5	1	6	11	4	10	1	4	1					38
6	1	2	2	2	5	4	2						18
7	4	3	5	6	3	1	4	1					27
8	2	6	4	5	2	8	5						32
9	4	4	2	3	3	3	1	1					20
10	2	4	3	6	3	5	1	1					25
11	2	9	8	6	10	4	5	3					47
12	2	7	2	7	3	3	1	1					31
計	23	47	41	47	45	34	24	8	1				270

眠り多い八月、あわただしい年末の十二月などに多く、年令別からみれば、十一歳から五十歳までのものが、全体の六七割を占め、性別では男性が七〇割で、家を外にする機会が多い職にあるもの、学生、生徒などが多いということがわかります。

このような救急業務にたずさわっている救急隊員は八人で、二分隊が編成され、二十四時間勤務の交替制ですが、休暇などの関係もあって、警防隊員を含めた全警員二十九人が、夜間勤務十人（警防七人、救急三人）の勤務定数を確保するよう運営されています。

発足以来これまでの出動要請されたなかで、救急車の乱用という

たケースも見られ、とくに急病人の場合にそうしたことが多く、救急事態が実際に発生したときの障害となる懸念があります。

これはある市の話で、

一一九番によりそれとばかり駆けつけ、玄関にいた婦人に「患者は」ときく「私です」という答えにびつくり、よく聞けば、産院へ入院するため、身の回りのものの荷作りをし、付添いとともにいませや遅しと待っていたということでした。これなどは、救急の本質を踏みちがえたあたかも救急車をタクシーがわりに使用しようとしたものです。救急車は急病人でも出動の要請はできませんが、それは限られたものであって、タクシーや自

人命救助



患者の病状が悪化し、生命に危険のあるときに始めて救急車の出動を要請すべきものです。市内では月六件十二件ほどの急病による要請があり、出動搬送していますが、その都度、注意をうながしています。

病人の取扱については、条例によって、料金を徴収している市もあるということですが、南国市は徴収していません。

救急で一番困るといふことは、市に救急病院のないことで、平日の午前中を除いて、すべて高知市の救急病院へ搬送していることです。また、死亡者の死亡の確認、脳内出血の患者などの搬送の可否や処置判断、搬送中に医師の応急処置を必要とするときに、要請しだい出動していただける救急搬送医の委嘱など、救急ベット、救急

指定病院の問題とともに解決しなければならぬ、救急医療体制の確立の課題があります。

すでに現場での死亡者は六件ほどあっているが、さいわい搬送中に死亡したものもなく、自殺行為で死亡しかけたものを救助したことも、発足当初、便所に落ち仮死状態の幼児を酸素吸入器を使い、しかも手持ちの酸素では不足したため、高知市の消防署から借りるなどして、ひとまず市内の病院で応急手当をほどこし、搬送中も医師の手当を受けながら高知市の救急病院へ入院させ、手術の必要があるといわれながらも、一命を取り止めたということなどによって、救急隊員の使命感が強くなってきているといえます。

行政的に考えなければならぬことに、岡豊町の一部は大津局の管内で、一一〇番、一一九番の緊急電話は、大津村役場を経由してきますが、介良村は南国局であるため、一一九番はすべて市消防署へつながります。また、両村とも南国署管内であるため、要請があれば人道上管外出動をしますが、行政上ならんらかの業務協定をする必要があります。将来、広域行政の中に組み入れて考えてゆくべきものです。

市の消防行政に対する予算は、

総予算額に対する全国平均二・五割に比べ、三・三割と全国の中心にあり、県下の新市では一番充実しています。

市民にのぞむことは、狭い道路上への駐車です。とくに夜間の駐車は、火災、救急などいっときを争うときの障害となり、大事となる原因になります。また各家庭に消火器一本、バケツ一杯の水は、

カーブとみられる昨今、交通量の増加とともに交通事故は日増しに多くなっています。私たちの住む南国市は、交通事故多発地といううれしくない指定を受けています。

交通事故は、いついかなるときに起るか誰も予想ができません。もし、事故にあわれたときは家族全員が不幸になり

みんなで加入しよう!!

市民交通傷害保険

保険の契約期間は、六月から翌年五月までの一カ年間ですが、年度途中の加入もできます。

加入される額は、五十万円

死亡の場合、一千万円

傷害を受けて治療を受けたものは、治療期間によって、二千万から一千万円までの償金が受けられます。

ところで一月末日までの加入と給付状況は、

四十三年度（第一次）

加入者総数 一万百八十七人

保険料 三百四十万四千円

保険給付金 五百五十六万二千円

（死亡五件、六カ月以上三十三件、一週間以上二十八件、未満六件）

請求手続中のもの 四件

四十四年度（現年度分）

加入者数 一万四百四十六人

保険料 三百七十三万七千円

保険給付金 百四十三万五千円

（死亡二件、三カ月以上十八件、一カ月以上十三件、一週間未満五件）

請求手続中のもの 三十六件

高い給付率を示しており、第二次も百割を突破することが見込まれています。



話題・トビックス

万国博の楽しい見方

市青少年対策本部、少年補導センターなどの主催によることも、会指導者研修会は八十八人余りの指導者をあつめ、このほど野市町の泉青少年スポーツセンター泊二日間で開かれ、間におたつたこと

子ども会の育成をはかろう

久枝 金子利一

南園市内に単位子ども会が八十もあることを知ったのも始めて、子ども会に対し、幅広い年

後免町公民館に図書室を設置

昨年来に完成しました後免町公民館(中町)に図書室ができました。これまで教育委員会などにあった図書に加えて、一月からは県の

選挙標語を募集

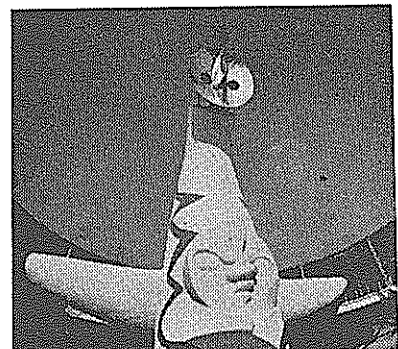
「明るく正しい選挙」を啓蒙したもの

資格 南園市民に限る 方法 はがきに住所、氏名をはっきりとあて先 市選挙管理委員会 締め切り 3月30日

入選 1等 1点=2,000円 2等 2点=1,500円 3等 3点=1,000円 佳作 10点=500円

日曜、祝祭日には約六十万人の観客が予想され、会場内は相当混雑するうえ、会場周辺では大規模な道路交通のマイヤ、駐車場の不足が考えられます。そこで万国博をより快適に楽しくご覧いただくためには、なるべく平日に観覧ください。ナショナルデーやス

ベシナルデーの催しは、平日にありませぬ。マイカーはなるべくおさげください。入場券はさきに購入しておいてください。会場入口の入場券発売所は相当混雑しますので、ご出発前に近所のたばこやさん駅の売店、その他ブレイガイド

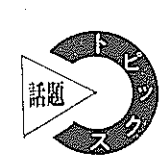


午後五時以降は、入場料金が半額となります。夜空に輝く光と音の世界は一段とすばらしく、夕方からでもゆつくり観覧いただけます。

このまま教育委員会などにあった図書に加えて、一月からは県の

一つは子供会の在り方、方向について専門家の方々から基礎的な知識を授けたことです。今一つは各地区の実際の体験に基づく発表をなされ、共通する問題点について解決の糸口を見出し、集まって来られた各地区の指導者の年配の方、若い方、男女一同が子供の将来の仕合わせを真に希っていること云うことに深い感銘をうけ、これからも及ばず年お手伝いをつけてゆこうと思いを新たにしました。こうした研修会に今後とも参加したいと思いますが、それよりもより多くの新しい方々が研修できる機会を多く作っていただくよう切望いたします。

こととして第8回を迎えた農協訪問駅伝競走は、2月1日、26チーム(一般9、高校9、中学8)260人の選手が参加し、10区間、53.4キロのコースで行なわれました。



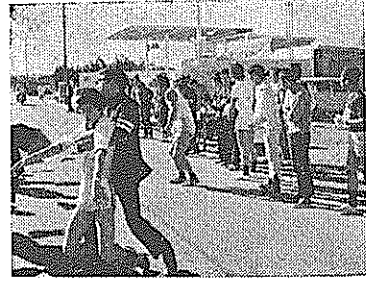
話題・トビックス

午前10時、市役所前を発走した第1区から第5区までの前半戦で、県下の最強を誇る高知農Aチームが、1区を除いて終始トップに立ち、1時間19分52秒の新記録でまずゴールイン、高知農B、山田高、三和農協A、瓶岩農協、協和農機香長中Aなどの順で前半戦を終り、再び市役所前をスタートした後半戦でも、高知農Aはその強さを発揮し、これまた1時間29分35秒と記録を短め、通算2時49分33秒と昨年樹立した記録を再び更新し、八連勝を遂げました。

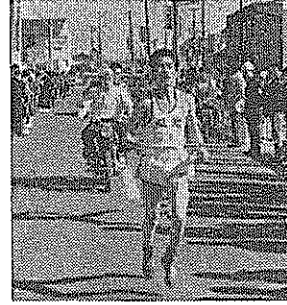
第8回農協訪問駅伝競走

高知農A8連勝

中学香長A一般瓶岩



(力走のあとで……)



(瓶岩一般)四連勝成る)

成績

=(◎は新記録)=

◇団体◇

〔中学校〕

1位	香長A	3時間10分42秒
2位	北陵A	3時間15分32秒
3位	香長B	3時間22分02秒
4位	北陵B	5位 香南
6位	香長C	

〔高校〕

◎1位	高知農A	2時間49分33秒
2位	高知農B	3時間0分32秒
3位	山田高	3時間02分36秒
4位	高知高専(陸)	3時間06分0秒
5位	高知農C	6位 高知東工

〔一般〕

1位	瓶岩農協	3時間06分27秒
2位	三和農協A	3時間06分43秒
3位	協和農機	3時間09分49秒
4位	前浜農協	3時間10分35秒
5位	十市農協	3時間28分38秒
6位	三和C	3時間31分36秒

- ◇区間賞◇
- (中学・高校・一般)
- 第一区(市役所-三和 3.8キロ)
- 冊賀崎勝男(香長A) 12分02秒、白川一(高農B) 11分41秒
- 松木敬二(三和A) 11分42秒
- 第二区(三和-十市 6キロ)
- 松木良親(香長A) 21分28秒、松田光香(高農A) 18分40秒、小笠原雅夫(瓶岩) 20分25秒
- 第三区(十市-前浜 5.7キロ)
- 浜口和三(香長C) 20分04秒、大利率男(高農A) ◎17分36秒、岡田秀康(三和A) 18分47秒
- 第四区(前浜-岩 5.3キロ)
- 吉川雄二郎(北陵B) 20分19秒、小笠原信夫(高農A) ◎17分41秒、坂本兼一(瓶岩) 19分21秒
- 第五区(岩-市役所 4.2キロ)
- 中村正博(香長A) 15分02秒、山本憲司(高農A) 14分03秒、浜田豊隆(三和A) 14分43秒
- 第六区(市役所-久礼田 7.1キロ)
- 山本豊秋(香長A) 25分12秒、中山勇生(高農A) 23分12秒、浜田敏弘(前浜) 23分21秒
- 第七区(久礼田-選果場 6.1キロ)
- 清淵真雄(香長A) 21分28秒、下村剛(高知農A) 18分36秒、竹崎真一(瓶岩) 20分0秒
- 第八区(選果場-白木谷 4.8キロ)
- 鍋島利和(北陵A) 17分53秒、中山和幸(高農A) 16分40秒、橋田照(三和A) 18分32秒
- 第九区(白木谷-岡豊 6.5キロ)
- 松本泰則(香長A) 22分10秒、野中三徳(高農A) ◎19分0秒、松垣絃一(前浜) 19分10秒
- 第十区(岡豊-市役所 4キロ)
- 坂本憲洋(北陵A) 13分59秒、中平利秀(高農A) ◎12分07秒、松木孝之(三和A) 13分31秒

昨年、一年間において南国市内で発生した子ども（一歳から十五歳まで）の交通事故は、死者はなく、傷者七十人となっています。しかし、この統計では、事故後四十八時間以内に死亡したものは含まれておりません。ところで実際に、電車の踏み切りでの自転車事故の小学生一人が、四十八時間を過ぎて死亡しているの、傷者六十九人、死者一人ということになります。

昨年、一年間において南国市内で発生した交通事故のみならず、市外で被害を受けた子どもをふくめると、もっと人数が増加するかも知れません。昨年の事故で、こども側の原因を調べてみると

こどもを交通事故から守ろう

- ▼六歳未満は
 - 車の直前 一人歩き
 - 直後の横断 六人
 - 路上への走り出し 六人
 - 車輻への同乗中 五人
 - 幼児の一人歩き 四人
 - ▼六歳から八歳まで
 - 自転車に乗っていた者 二人
 - 車の直前、直後の横断 二人
- ▼九歳から十二歳まで
 - 車輻に同乗中 二人
 - 自転車に乗っていた者 二人
 - 車の直前、直後の横断 二人
 - 車輻に同乗中 十一人
- ▼十三歳から十五歳まで
 - 一人歩き 一人
 - 自転車に乗っていた者 八人
 - 車輻に同乗中 八人
 - 二輪自動車や自転車 三人

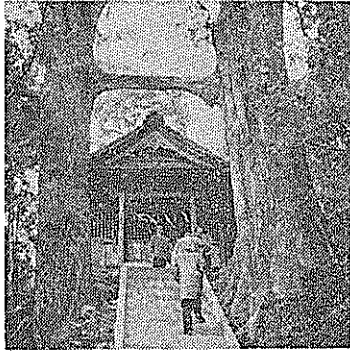
この原因からの教訓は、幼児、保育児、小学校の下級生に対しては、「正しい道路の歩き方の教育」、特に、車の直前、直後の横断、道路への飛び出し、は絶対にさせないようにつけることが大切です。小学生の上級生、中

と、まことにお寒い状態にあります。市内の中学生は大部分が自転車通学であり、自転車専用道路は一カ所もなく、統計に出た十六件の自転車事故はそなを物語っています。歩道と車道の区別も、後免竹中間の約三キキらずに一カ所あるのみで、ダンブや大型車がひしめきあって通る道を、保育園児や小学生が小さくなって、危険にさらされながら通学、通園をしている状態にあります。「こどもを交通事故から守る」ことは思想や党派を越えて誰れでも賛成できることです。四月ともなれば、新入生新入園児が通学、通園をします。私たちはそれぞれの立場から、事故防止に精いっぱい力を尽くしてほしいものです。

桑の川の鳥居杉

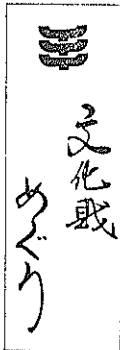
(市指定天然記念物)

穴内川の上流には市のへき地といわれる旧上倉村の異滝、桑



の川、大改野、中の川の四部落があり、その一つ桑の川に、土地の人たちが生き鳥居とよんでいる鳥居杉があります。

この鳥居杉は豊年を祈願する地主神社への参道、



石段の左右、両側に杉の大樹がそそり立ち、地上四、五メートルのところから水平に出た長さ三・五メートルの一本の枝で

つながり、完全な巨状を呈しています。右側の杉が大きく、高さ約四十メートル、地上二メートルの幹回り五・五メートル、左側の方は高さ約三十メートル、幹回り三・六メートルあります。連理の枝は左右いづれから出たものか、両方から出てつなげたものか、いづれともわかりませんが、形はかなりひらたく中央の一番くびれたところの回りでも約五十センチほどあ



ります。全国でもH型の木は珍らしく島根県下でクロマツがあるのみで、連結した枝も水平でなく、鳥居杉よりはずっと小さなものです。

後免のオガタマの木 (市指定天然記念物)

古い墓地にある常緑樹で、高さ約十四尺、地上三・三尺のところ、地上五尺あたりで分岐しており、樹令は約三百年といわれています。葉柄に蜜緑があつてミツを出すため、天然記念物のミカドアゲハ(蝶の一種)が好む特色をもっています。数年前から、舟入川をいを除く周囲に人家が建ち、根元の付近は廃物の置き場になるなど、立地条件が悪くなり、保護に苦慮しています。

彼岸



まもなく彼岸

岸の声を聞く。種子蒔きの季節である。いつもはこの季節になると農民の気持ちも希望に膨らんでくるのだが、今年はすこしちがっているようだ。米の減反問題が農民達の胸へ大きな波紋を投げたからだ。この問題は二転三転しながら、自主的減反という形で各農家へ天下ってきたが、これで一切の解決がつくとはいえぬ。はたしめて考えていないであろう。

かつて政府は選挙の度に、基本法農政、構造改革、基本法農政、構造改革と、農民に夢と期待を持たせるような念仏をと立ててきたが、それらの殆んどは空念仏となってしまうと、農民の傍らを素通りしてしまつた観があるが、そ

れはしかし夢を期待が消え去つただけでことがすんだ。

一方この十年間に日本の経済は高度の成長を遂げたが、農民の現況はむしろかつてない深淵に落ちこもりとしている危険感さえある。

現在政府は総合農政の看板を打ちだしているが、これは別名、イ

そのもうすゝめ

みなさんの声、意見をお寄せください。

六千字以内

その理由、今度の自立経営の規模を四〜五ヘクタールの線に置いてみるからであろう。農民生活の現況とはあまりにも隔絶の観があるこの農政に対して、今度は夢も持てそうにないというのが、

農民の本心なのであろう。中には将来に対して漠然とした怖れを抱いている小心の農民もいるであろう。

政治家の考えていることは甚だ机上の論法であり過ぎる。もうすこし農村の現況に密着した行政を望むのは私だけだろうか。

だが一面、こうした農民の現況とは離反した政治が公然と行なわれるのは農民の責任だとも考えられる。日本の農民は全人口の六割だと書かれているが、国会に真の農民の代表として、自他共にゆるす代議士が何人いるだろうか。何かいけるとしても他の組織の中に

漸く陽気さを増した三月の陽射しの下で、農民は黙々と働いているが、こころあたりで政治の場にもものを言う場所を獲得しなければいつまでも経っても、うだつはあがらないであろうことを明言して置く。

いるのでは仕方がない。宗教団体を基盤とする公明党でさえ第三党にのしあがってきた現在、日本人口の六割と、農協という強力な組織を有する農民が、真に政治意識に眼ざめて立上がったならば、百歳席は愚か、第一党にのしあがる可能性も十分にある訳だ。

市として発展を約束されている。ところが南園市の川も汚なさにいってどこの川にも負けるかと許り汚されている。殊に後免町を貫流する舟入川の汚され方は全く言語道断である。物部川の清流を引いた舟入川は農業高校下の後免町に入るまではまだまだきれいだが、それが町に入って僅か一キロそここ流れる間に、投げこまれる塵芥によって目をそむかせるように汚される。川下に住む私たちはたまったものではない。同じく兼山の手になる仁淀川八田堰から引かれる新川が、弘岡の沃野をうるおして流れている。私は用務で毎月一、二回この流れに沿ってバイクを走らしたが、この川が美しく守られていることに感激させられた。この地区は昔から教育の進んだ地区として有名で、その伝統が今もつがれているであろう。南園地区も教育は大へん進んでいた筈である。私は頭を傾け現状を歎く。この川の近くに育つた私たちは、川に小便したり、穢いものを投げこむと罰があたると教えられてきた。昔の人は水神を祭り川を大切にしました。私たちは恵まれた環境をより美しく保ち、潤濁しがちな生活を豊かにするために私たちが川を美しく守ろうではありませんか。



川を美しく守ろう

この冬は気象史上珍らしい干天続きで井戸水も水道水源池も涸れ

かかったが、早春の雨にやっとくつろいだこの頃である。水のある風景は私たちの心をなごやかに豊かにしてくれる。日本は水に恵まれ、その水の美しいことは世界にその比を見ない素晴らしいものであった。都市を流れる水でも思わず足をひたしたくなるようにきれいだった。が現代は町、村をとわず、流れは汚され、穢され、汚濁そのものである。私たちの南園市は川に恵まれた都市である。これらの川を中心にこの地の秀れた産業、文化は育つてき、将来美しい田園産業文化都

か。 (中田善水)